

# ほうふ市の人権教育

令和2年12月2日

NO. 4



防府市教育委員会 生涯学習課

防府市民のみなさんが参加されている人権学習の様子や、防府市内の小・中学校で行われている人権学習についての取組を広く発信することにより、より多くの方が人権について考えることのできる機会をつくり、「一人ひとりの人権が尊重された心豊かな温もりのある地域づくり」の一助としたいと考えています。人権学習の依頼、質問等ございましたら、生涯学習課人権学習室までご連絡ください。(0835-23-3016)

## 人権教育参観日

国府中学校の人権教育参観日の様子です。自分たちの身近に起こり得る人権問題について学びを深めていました。



教材名「卒業文集最後の二行」

【内容】

小学生の時に軽い気持ちで行った「いじめ」。いじめられた子が卒業文集に書いた二行の言葉に主人公は衝撃を受けます。

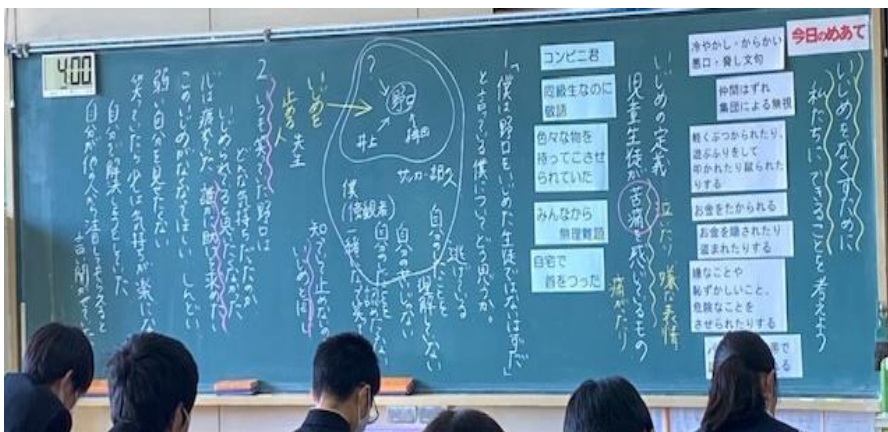
「いじめ」は被害者だけでなく、加害者にも深い傷を残す絶対に許されないものであることを深く考えることができました。

教材名「茂の悩み」

【内容】

部活動で勝つために上手な下級生を起用すべきか、一緒に頑張ってきた同級生を起用すべきか。キャプテンである主人公は、様々な考え方もつチームメイトや下級生に板挟みになり、悩みます。

人それぞれの見方や考え方があることを理解し、互いの個性や立場を尊重しながら、考えを伝え合うことの大切さを考えることができました。



教材名「僕たちがしたこと」

【内容】

いじめの傍観者であった「僕」は自殺未遂をしてしまった友達の遺書の内容に心が揺れ動きます。

いじめにつながる行為と、それが招く結果について考えることで、いじめは絶対に許すことのできないことであり、断固として拒否しなければならないことだと改めて考えを深めていました。

# 「人間尊重?!について考える」人権学習会

幼稚園連盟主催の人権学習会の様子です。人権学習指導員を講師に、親として、大人として、子どもたちに胸を張って誇れる生き方について考えました。

私たちは自分と違うものを許さない。  
多数派の中にと安心・異質なものをや少数派を排除  
他との違い・今までとの違いを好まない

## その結果

同和問題  
まだ残る心理的差別

子どもの問題  
いじめ・貧困

外国人の問題  
文化の違い

障害者の問題  
雇用・自立

性に関する問題  
偏見・差別

## 人権を考えるうえで大切な視点

困っている人の言葉に耳を傾けその背景を「想像する力」を持つ  
決して「大人のきれいごと」や「大人の建前」ではない  
胸を張れる生き方

11/26/2020

32

私たち大人は、大人になるまでの間に様々な固定観念を植え付けられてきたように思う。この凝り固まったものを解きほぐすのはなかなか大変なこと。でも、子育てをする上で、今の子どもたちには正しい知識や情報を教えてあげ、自分で判断できる人間に育てられるようにしたいと思った。(研修後のアンケートより)

人間尊重をするには、ただ流れてくる情報を受け身になって受け取るだけではだめで、自分から意志をもって知ろうとし、学ぶ事が大事だと終始感じました。子どもには、自分で考え、調べ、学ぶ力を身に付けてほしいです。そのために、自分がどう子どもに向き合っていくべきかを考えていきたいと思えます。(研修後のアンケートより)

